

令和6年度 第2回 学校評価アンケート結果

羅針盤			評価				現況分析と今後の課題
評価対象	評価項目	具体的方策	総合	生徒	保護者	教職員	
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めている。	1 特色ある教育活動を行っている。	1 地域や社会の期待を踏まえ、学校の特色化を積極的に進めている。	A 89.7%	A 86.5%	A 94.4%	A 86.0%	本校の目標である文武両道をさらに充実させ、地域や社会に開かれた学校づくりを推進していく。
	2 文武両道を目指し、地域や保護者の期待に応えている。	2 生徒や保護者が満足するような教育活動を進めている。	A 89.1%	A 86.6%	A 92.2%	A 91.1%	こらからの社会で求められる非認知能力を様々な場面を通して育成し、地域や社会で求められる人材の育成に力を入れていきたい。
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしている。	3 生徒の実態に応じた指導を行っている。	3 学習内容の定着を図るための課題を課している。	A 86.9%	A 88.7%	A 85.4%	B 78.6%	個々の学習状況の的確な把握に努めるとともに、ICTをはじめとした様々な方法で生徒の知識や思考力・判断力の育成に力を入れている。主体的・対話的な学習と個別最適な学びを場面場面で使い分け、生徒の成長を促していく。
	4 生徒は確かな学力を身につけている。	4 生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	A 84.7%	A 86.0%	A 83.5%	A 81.4%	
	5 生徒に自主的な学習を喚起している。	5 生徒の主体性や協働性を高める授業や活動を行っている。	A 89.8%	A 88.7%	A 91.4%	A 87.9%	3年間続けた「総合的な探究の時間」のプログラムの評価を行う時期になった。主体性や協働性をはじめとする非認知能力がどのように変容していったかを分析し、次年度以降のプログラムの検討を進めていく。OASISや図書館、食堂の開放など、放課後学習の場は確保されている。これからも、生徒自らが学びに向かうことのできる授業や課外活動を提案・企画していきたい。
		6 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	A 90.3%	A 92.7%	A 88.0%	A 82.2%	
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしている。	6 組織的・継続的な指導を行っている。	7 生徒が社会のルールや学校の規則をきちんと守っている。	A 83.9%	B 79.3%	A 89.7%	A 85.1%	生徒の多くは落ち着いた学校生活を送っている。全国的にもSNSに起因したトラブルの増加が見られており、今後もトラブルの防止に向けた指導や集会などで注意喚起を続けていく。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っている。	8 日頃から保健に関する指導が行き届いており、健康管理に配慮されている。	A 88.0%	A 88.1%	A 87.8%	A 88.0%	環境保健部を中心に生徒の健康管理指導に力を入れている。また養護教諭2名が連携しながら、生徒のサポートを行っている。事故や怪我だけでなく、心のケアを必要とする生徒も含めて柔軟に対応していきたい。
	8 生徒が安心安全に学校生活が送れるよう指導や配慮ができています。	9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	A 89.7%	A 90.4%	A 88.4%	A 93.0%	毎日の登下校時の交通指導を行い、事故防止に努めている。また、ヘルメット着用の呼びかけを続け、着用率は高い状況でキープしている。
		10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。	A 82.4%	A 84.0%	B 79.5%	A 90.1%	生徒の悩みや不安を和らげる体制づくりを推進している。生徒指導部とスクールカウンセラーが連携し、生徒や悩みを抱える保護者のカウンセリングに当たっている。
	9 生徒は積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。	11 学校行事に関して、生徒が主体的に取り組むことのできる内容になっている。	A 91.5%	A 91.4%	A 92.8%	A 81.0%	生徒会が中心となりスポーツフェスタなどの学校行事を成功させた。生徒が一丸となって主体的・協動的に参画することができる場を企画していく。
		12 部活動が活発で充実している。	A 95.6%	A 95.8%	A 95.6%	A 94.1%	運動部、文化部ともに多くの生徒が部活動に所属しており、大会やコンクールなどで大きな成果を上げている。
		13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。	A 80.3%	A 82.5%	B 75.7%	A 96.0%	生徒に向けていじめに関するアンケートを年3回実施するとともに、生徒会が中心となり、いじめについて考える「いじめ防止フォーラム」を実施している。いじめは絶対許さないという体制を作っていくことが不可欠であるとする。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な進路指導を行っている。	14 生徒が進学に向けて意欲的に取り組めるような講座や補習などが行われている。	A 88.9%	A 92.2%	A 86.2%	B 74.0%	土曜講座や長期休業中の集中講座、外部講師による講座など、状況に合わせ計画的に講座が実施されている。各種講座や補習について更に充実したものにし、進路実現につなげていきたい。
	11 適切な進路情報を提供している。	15 進路講演や高大連携事業、大学見学会などを通し、進路検討に役立つ機会が設けられている。	A 92.6%	A 94.4%	A 90.3%	A 91.0%	外部講師を招き、職業や学問について学び、理解を深める機会を設定した。また、系列大学との高大連携事業やGメッセで開催された進学相談会に参加した。
	12 生徒それぞれの進路実現のために個別指導を行っている。	16 進路相談や小論文指導、面接練習指導などが手厚く行われている。	A 86.8%	A 91.4%	A 80.6%	A 88.0%	様々な進路希望に合わせ、小論文指導や面接練習指導など、個別指導を徹底させている。今後も研修等を通して、教師の指導スキルの向上に努めたい。
	13 資格取得や検定対策を行っている。	17 検定を受験する機会を設け、検定対策指導が行われている。	A 88.9%	A 91.3%	A 85.8%	A 88.0%	英語検定や漢字検定、数学検定などの各種検定の受検機会を数多く設定している。検定に対する受検準備が確かな学力養成につながるように事前指導を工夫していきたい。
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めている。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしている。	18 ホームページから必要な情報が得られ、学校の様子がよくわかる。	A 86.5%	A 88.5%	A 83.4%	A 92.0%	学校生活の様子や本校の魅力が家庭や地域社会に伝わるように、情報発信を進めている。
	15 保護者との連携をもって教育活動を効果的に推進している。	19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	A 84.7%	A 88.7%	B 79.3%	A 83.8%	配布物とClassiなどのICTを利用した連絡を併用することで、保護者に情報が適切に届くよう心がけている。保護者のClassiの利用率（閲覧率）が向上するような仕組み作りを進めていきたい。
		20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	A 96.5%	—	A 96.5%	A 96.0%	
		21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	A 86.9%	—	A 87.7%	B 79.0%	開かれた学校づくりに努めていきたい。

備考：
1) 2024年(令和6年) 12月実施
2) 有効回答数-生徒1264名(99.1%)・保護者945名(74.8%)・教職員101名(98.0%)